

令和6年度 清水町立御影こども園の保育と教育【企画編】

保育理念

心をかよわせ、互いに響きあう、感性豊かな子どもを育む

保育・教育目標

げんきな子

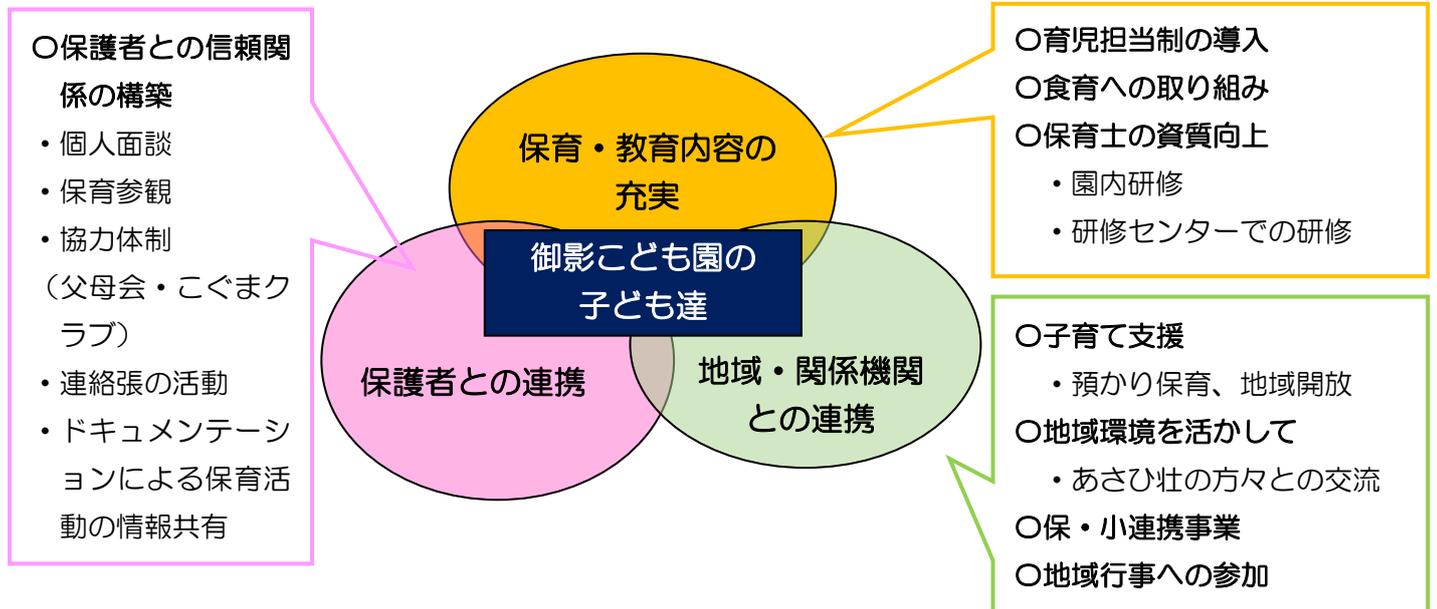
- ・元気なあいさつ
- ・自分の好きなこと、得意なことを見つけ伸び伸びと遊ぶ
- ・友達と仲良く遊ぶ

やさしい子

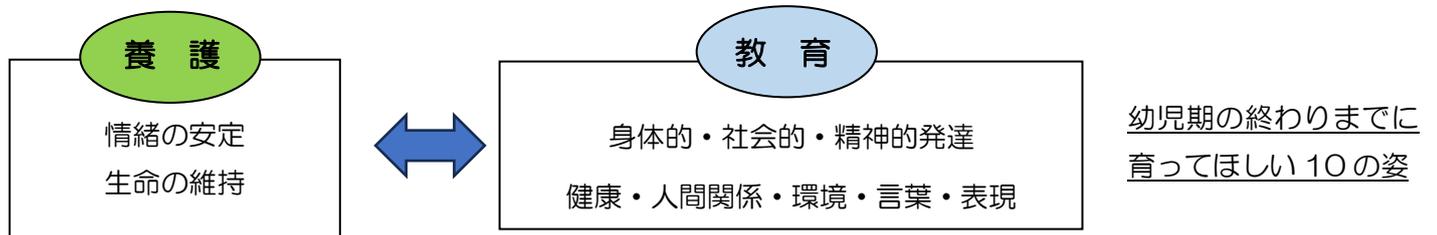
- ・相手の気持ちを理解し、思いやりをもって接する
- ・素直に話を聞き、人の為に何かできる
- ・動植物に関心を向け、生き物に向ける優しい心

がんばる子

- ・友達と一つの目的に向けて力を合わせる
- ・失敗してもそこから学び、何度でも挑戦する
- ・身近なものに関心を向け、不思議に思ったことを探求する

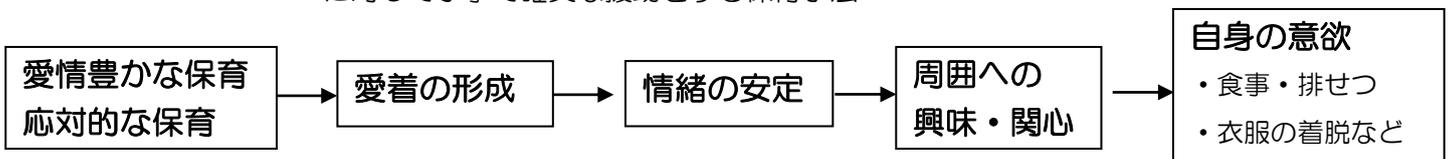


養護と教育を一体とした保育活動



0・1・2歳児 育児担当制

・特定の保育士が特定の子どもの育児を継続的に行うことによって、一人一人の子どもに対して丁寧で確実な援助をする保育手法



「お世話」ではなく、発達の援助。つまり、教育的援助である。

生活と遊びの連続性であり、質の高い保育（保育の環境の質と保育の質の両方）が必要であるため、担当保育者同士、協同しながら試行錯誤を繰り返し、よりよい環境づくりを模索している。